

経友会

ニュース 第25号

ご質問・お問合せ・メールのご登録は
大阪市立大学 経友会
 (大阪市立大学 経済学部同窓会)
keiyukai07@sakai.zaq.ne.jp
<http://keiyukai.info>

2013(平成25)年9月25日発行

第17回総会 新会長に塚本氏を選任

6月15日(土)、学術情報総合センター文化交流室において第17回総会を開催しました。本年度は任期2年の役員改選年に当たっていて、これまで全学統一同窓会創設の機運醸成に努められた山幡会長は、任期を終えて5月の常任幹事会で辞意を表明され、後任会長に友恒会副会長、同会京滋支部支部長の塚本喜左衛門氏(昭46年卒)を指名されました。常任幹事会でこの提案が承認され、総会でも満場一致で塚本氏が新会長に選任されました。

このほか、55周年・60周年記念事業でご尽力をいただいた元副会長・顧問の龍口篤夫氏、元副会長・事務局長の南部昌弘氏、前副会長の渡辺尚年氏をはじめ、長年常任幹事を務めていただいた方々が退任されました。改めてこれまで経友会活動の発展にご尽力いただいた諸氏に対して心からお礼を申し上げます。



塚本 喜左衛門 新会長
(昭和46年卒)

会員各位には平素は、経友会活動にご協力ご支援を頂き、誠にありがとうございます。

本年6月の第17回経友会の総会にて、山幡会長の後任を拝命しました塚本喜左衛門でございます。不束者ですが、よろしく申し上げます。

これまで経友会講座やキャリア形成ゼミの開講、経友会ニュースの発行など経友会活動を活発に展開されてきたことに対し、役員はじめ関係各位に心より感謝申し上げます。

さて、大阪市立大学は、本年6月に杉本町学舎に将来のノーベル賞候補と目される人工光合成センターが設立、7月には、うめきたグランフロントに産官学共同の健康科学イノベーション・センターが設立されました。来春には、あべのハルカスに日本最大級のメディカルフロアが誕生し、市大医学部付属病院の先端予防医療センターがその中核施設として開業します。新しい時代を見据える本学の力強い発展を嬉しく思う次第です。府立大学との統合を踏まえ、一方で着実に学術的に発展する母校に対して心よりエールを送りたく思います。今後とも時代の変化に対応して経友会も進化・発展を続けたく存じますので、皆様にはご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

末筆になりましたが、会員各位のますますのご活躍、ご健勝をお祈りいたします。



山幡 一雄 前会長
(昭和38年卒)

教育後援会及び全学同窓会の発足の時期に当たり1期2年で塚本会長にバトンタッチすることとなりましたがこれまで改革の取組みにご支援下さった会員諸兄に対し深く感謝申し上げます。

偶々亡父が京大法学部で師事していたのが天皇機関説の憲法学者佐々木惣一教授で、昭和8年京大事件の際に志を同じくした恒藤恭先生が京大を辞して大阪商科大学・河田嗣郎学長に受け入れられることになりました。亡父は止むを得ず京大で学問を続けられなくなり昭和8年に大阪市役所に奉職しています。

恒藤先生は昭和24年新生大阪市立大学の初代学長になりました。私は60年安保改定の前年に入学し河上肇の孫弟子 相澤秀一教授のゼミで卒業しました。

わが大学は河田嗣郎・恒藤恭先生を源流とするリベラルな伝統があり抜群の情報発信のDNAがありますのでOBの皆様には大学の改革の道筋をマクロな観点からバックアップしていただきますようお願い申し上げます。

新役員一覧(任期 平成25~26年度)

(敬称略)

会 長	塚本喜左衛門	新 任
副 会 長	福島 由堯	留 任
副 会 長	有田 正文	留 任
顧 問	建部 好治	留 任
顧 問	久我 一郎	留 任
顧 問	木村 進	留 任
顧 問	高田 雄司	留 任

顧 問	今川 明	留 任
顧 問	久保 勇	留 任
顧 問	木村 甲辰	留 任
顧 問	菅原 正博	留 任
顧 問	渡辺 尚年	前副会長
監 事	溝川 茂久	留 任
事務局長	出原 康雄	留 任

第17回 経友会総会報告

今年度も有恒会総会の日に合わせて6月15日(土)午前に総会を開催しました。この総会には平成24年度の事業報告と同会計決算、平成25年度の事業計画と同会計予算が付議され、すべて原案通り議決された後、役員改選が行われました。議決案件は以下の通りです。

1. 平成24年度の主な事業

- (1) 組織と財政基盤の強化
 - ・未入会卒業生に経友会ニュースを送り入会呼びかけを行う。(平成22年～24年度卒業 約700名)
 - ・過去3年間会費納入のない人には9月のニュースでニュース送付と総会案内を休止する旨告知。25年3月から送付休止を実施。 ・通信費節減のため総会案内等に電子メールの利用を実施。
- (2) 会議の開催
 - ・常任幹事会 5月26日、11月3日開催 ・総会 6月9日 第16回総会開催
- (3) 第8期 経友会講座開講
 - ・平成24年10月から翌年1月まで13講座を開講
- (4) 第3期キャリア形成ゼミ開講への支援
- (5) 経友会ニュースの発行
 - ・年2回(9月、3月)発行 A4版 8ページ
- (6) 経友会活動のPR強化
 - ・経友会HPを活用して経友会活動や大学の情報を提供

2. 平成24年度一般会計決算（平成24年6月1日～平成25年5月31日）

■ 収入の部

(四)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差 額 (B - A)	前年度決算額
前 期 繰 越 金	5,346,226	5,346,226	0	6,016,744
会 費 収 入	1,000,000	889,840	-110,160	960,900
雑収入(寄付等)	100,000	122,220	22,220	174,340
受 取 利 息 等	1,000	1,343	343	1,741
当 年 度 分 収 入 合 計	1,101,000	1,013,403	-87,597	1,136,981
収 入 の 部 合 計	6,447,226	6,359,629	-87,597	7,153,725

■ 支出の部

(四)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差 額 (A - B)	前年度決算額
通 信 費	491,000	481,545	9,455	649,230
印 刷 費	365,000	319,075	45,925	295,675
消 耗 品 費	16,000	17,166	-1,166	26,486
広 報 企 画 費	15,000	13,700	1,300	13,910
人 件 費	270,000	270,000	0	270,000
会 議 費	13,000	18,191	-5,191	5,488
協 賛 ・ 助 成 費	50,000	50,000	0	50,000
講 師 等 謝 礼 金	0	0		0
懇 親 会 費	20,000	0	20,000	20,000
雑 費	10,000	2,835	7,165	23,314
予 備 費	10,000	0	10,000	0
小 計	1,260,000	1,172,512	87,488	1,354,103
特 別 会 計 繰 出 金	596,000	552,692	43,308	453,396
支 出 の 部 小 計	1,856,000	1,725,204	130,796	1,807,499
単 年 度 収 支 差 額	-755,000	-711,801	-43,199	-670,518
次 期 繰 越 金	4,591,226	4,634,425	-43,199	5,346,226
支 出 の 部 合 計	6,447,226	6,359,629	87,597	7,153,725

☆普通郵便貯金 594,639円

☆活動資金残額 39,786円（郵便貯金 32,498円、銀行預金 684円、手持ち現金 6,604円）

3. 平成24年度 経友会講座特別会計支出決算書

科 目	支 出 額	内 訳
通 信 費 10,000	1,200	講座講師に礼状と経友会ニュース送付 15通
消 耗 品 費 13,000	5,090	講座担当委員名刺作成、ビデオカメラメモリー
交 通 費・出張費 147,000	161,340	講師旅費・宿泊費、講座担当委員交通費
講 師 等 謝 礼 費 260,000	260,000	講師謝礼 @20,000円×13人
講 師 等 食 事 費 156,000	125,062	講師と担当教授・委員 夕食代
雑 費 10,000	0	
合 計 596,000	552,692	予算額596,000円－支出額552,692円＝残額43,308円は一般会計へ戻入れ

4. 平成25年度 経友会一般会計予算

■ 収入の部

(円)

費 目	H25年度予算額(A)	前年度予算額 (B)	増 減 額 (A－B)	前年度決算額
前 期 繰 越 金	4,634,425	5,346,226	-711,801	5,346,226
会 費 収 入	1,000,000	1,000,000	0	889,840
雑収入（寄付等）	50,000	100,000	-50,000	122,220
受 取 利 息 等	1,000	1,000	0	1,343
当 年 度 収 入 計	1,051,000	1,101,000	-50,000	1,013,403
収 入 の 部 合 計	5,685,425	6,447,226	-761,801	6,359,629

■ 支出の部

(円)

科 目	H25年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増 減 額 (A－B)	前年度決算額
通 信 費	410,000	491,000	-81,000	481,545
印 刷 費	325,000	365,000	-40,000	319,075
消 耗 品 費	22,000	16,000	6,000	17,166
広 報 企 画 費	15,000	15,000	0	13,700
人 件 費	270,000	270,000	0	270,000
会 議 費	17,000	13,000	4,000	18,191
協 賛・助 成 費	50,000	50,000	0	50,000
講 師 等 謝 礼 金	0	0	0	0
懇 親 会 費	20,000	20,000	0	0
雑 費	10,000	10,000	0	2,835
予 備 費	10,000	10,000	0	0
支 出 の 部 小 計	1,149,000	1,260,000	-111,000	1,172,512
特 別 会 計 繰 出 金	513,000	596,000	-83,000	552,692
支 出 の 部 小 計	1,662,000	1,856,000	-194,000	1,725,204
単 年 度 収 支 差 額	-611,000	-755,000	144,000	-711,801
次 期 繰 越 金	4,023,425	4,591,226	-567,801	4,634,425
支 出 の 部 合 計	5,685,425	6,447,226	-761,801	6,359,629

- (注) 1. 特別会計繰出金は全額経友会講座の費用に充てる予算。
2. 経友会講座特別会計予算は、その内容が交通費・出張費を除いてほぼ前年度決算額と同じにつき省略します。

第4期 キャリア形成ゼミ開講

本年4月、4年目を迎えたキャリア形成ゼミには、2・3回生12名（男子8名、女子4名）が集り、4月から7月まで実践的戦略的な課題解決の方法を勉強しました。今年度のゼミは、第1回目にも担当された中川満先生が担任されることとなり、先生のお話では、4年目を迎えてゼミの進め方、進行のノウハウが確立して、ゼミが効率的・効果的に進められるようになったとのことで、ゼミの進め方としては、ゼミ生はまず現場を見学して実態を知る、説明を聞いて提案を考える、フィードバックして案を修正するという方式が定着したとのことでした。

中川先生は今年のゼミを終えて、今後学生たちに期待することは、アイデアを出すことの大事さを知ること、そしてアイデアの実現化を考えるうえで現場との調整において、アイデアの修正あるいは現実の修正という手法を磨いて実践力をつけることであり、このことはキャリア形成ゼミの課題であって目標でもあると概括された。

また視察先の大阪国際会議場からはゼミ生の提案の中には現実的とは言えないが検討に値するアイデアがあり、学生の柔軟な頭脳にビジネスチャンスの可能性大なるものがあると評価されたことを喜んでおられた。



中川 満 准教授の講義

ゼミの講師を務めていただいた松浦康裕氏、廣田雅美氏から次のとおりの談話をいただきました。



松浦 康裕氏

― プレゼンテーマ「大阪国際会議場と国際会議について」―

― 演習課題「大阪国際会議場での会議を増やし、 来客者を増やすにはどうすればいいか。」―

講師 元大阪ガス株式会社 松浦 康裕氏談話

経友会からキャリア形成ゼミの講師の依頼を受けたものの、テーマ及び演習の課題を何にするか悩みましたが、できるだけ現実の社会に即した問題・課題を考えてもらうため、かつて私が出向していた大阪府立国際会議場（グランキューブ大阪）をテーマに取り上げようと思い、電話で同会議場に施設見学・会議室の提供等をお願いをしたところ、快諾を得ました。

国際的なコンベンション開催国・都市や国内のコンベンション都市の開催状況など実情調査した結果、国際会議開催数では大阪市のランキングが意外に低いことが分かりました。そこで、学生さんたちに「なぜそうなのか」その理由と大阪市内で国際会議を増やす方策、特に大阪国際会議場での国際会議を増やす方策及び来客数を増やす方策を考え、そのアイデアを提案してもらうことにしました。学生さんから提出されたアイデアを中川先生にまとめていただき、国際会議場の担当者に報告したところ、「我々では思い付かないようなユニークな提案をいただきありがとうございます。ありがとうございました。」と高い評価をいただきました。今後、これらの提案について実現に向けて具体的に社内で検討もらえるようです。

私は、今回の演習が学生たちに国際会議を通じての大阪市の活性化を考える動機づけとなり、また今後、就職活動をするに当たって、自分の進路を考える一助になればと願っています。



大阪府立国際会議場



廣田 雅美氏

― 演習課題「大学生にとってより魅力ある 企業家ミュージアムとするには何が必要か。」―

講師 大阪商工会議所 人材開発部 大阪企業家ミュージアム課長 廣田 雅美氏談話

大阪企業家ミュージアムは企業家精神の伝承と次代を担う企業家の育成を目的とし、「社会・経済の発展、生活向上の原動力である企業家達のチャレンジとイノベーション」をテーマに、大阪で活躍した企業家105名を紹介する全国的にも非常にユニークな博物館です。

大阪市立大学と当ミュージアムを運営する大阪商工会議所の祖は五代友厚氏。そういうご縁もあり、一人でも多くの貴校の学生さんに大阪の経済の基盤を成した企業家精神をお伝えしたいと考え、今回の演習に参加させていただきました。

また、社会に出れば即戦力としての活動が求められますので、大学生としての専門知識に加え、今回の演習を通して、自分の意見を持ち他者とのコミュニケーションを図りながら目的を達成する力、所謂「社会人基礎力」の必要性をご理解いただき、その育成のお手伝いができればと考えました。課題解決のご提案には実現性など裏打ちに欠けるところもありましたが、若者ならではのユニークなご提案をいただきました。

今回の経験を通して、参加された皆さんが大阪の地で市立大学に学んだ学生としての誇りをもち、将来、大阪の活性化と繁栄に貢献する人材に育たれることを願っています。



ミュージアムでの講義

— シリーズ 経済学部先生紹介 —

このシリーズでは先生方から自己紹介の形でご自身の研究テーマや講座などについてご寄稿いただいています。今回は本学経済学へ赴任されて13年目の中村秀樹教授に登場願いました。前研究科長 脇村孝平先生のお言葉によると、物静かな人で、黙々と研究を続けておられる先生だそうです。

経友会の皆様、経済学部教員の中村 英樹です。
マクロ経済学・応用計量経済学が専門です。

プロフィール

出身は、兵庫県姫路市です。1995年に筑波大学社会工学研究科で博士（社会経済）を取得し、その後、福島大学経済学部に赴任しました。2001年に大阪市立大学経済学部に転任して現在に至ります。

写真は、この夏、福島大学にセミナーに呼ばれたときに福島駅前で撮ったものです。福島県は、福島大学に居たこともあり縁のある地です。東北震災から2年半経ちますが、福島市には震災の影響は殆ど



中村 秀樹 教授

感じられません。出て行かれた方がいる一方、いわき・相馬市のほうから避難先として来られる方も多く、また、震災復興も進んでいるようです。しかしながら、市から離れるとやはりさびれてしまった地域も目立つようです。NHK「八重の桜」で、幕末における会津藩の悲惨な役回りが描かれていますが、今回の震災で放射能被害を最も被った福島県に度重なる悲運を感じずにはいられません。

研究

出身の筑波大学社会工学研究科は、社会経済・経営工学・都市計画の3専攻からなる特殊なところですが。社会経済専攻では、市場を全面的に信頼し数理的な分析手法をとるミクロ経済学の研究者が主流で、数学・統計を重視する風潮がありました。近代経済学は、経済学的考えだけでなく数学・統計も必要ですから習得に労力を要し、中途半端に学んでしまうと理論や手法に振り回されてしまい、本質が分からないまま表面的に分析してしまうという危険性があります。私は、院生時代にマクロ経済学に興味があったものの専門家がおらず（よって、私には研究上の師匠はいません）、我流でやっていたため理論への違和感を自分では解消できないというもどかしさがありました。

転機は、大阪市大に縁があって赴任し、瀬岡吉彦教授を中心とする研究会に参加するようになってからです。瀬岡教授の薫陶を受けることができたのは私にとっては僥倖でした。「理論モデルの本質」を理解し、「現実を理論モデルに描き出す」ということができるようになりました（ただし、気を抜いているといまだに駄目出しされます）。

現在は、「所得不平等の経済全体への影響」を分析しています。私は、日本における中間層の崩壊に危機感を持っていますが、それは、単に低所得者層を増やすということだけではなく、全体に悪影響をもたらすと考えからです。教育（特に、初等教育）と労働市場に注目し、なぜ、現在の事態となったか、今後どうすべきなのかを分析し、海外ジャーナルに提言しています。このテーマは、他の先進国、中国や途上国にとっても重要であり、大阪市大が研究拠点になるように研究していく所存です。

平成25年春 経済学部卒業生の就職状況

「新卒ニート依然3万人超」、「安定的な職に2割が就けず」―これは本年8月8日付の日経新聞が今春の大学卒業生の就職状況を報じた見出しです。文科省学校基本調査の速報によると今春4月1日現在の大学卒業者は約55万9千人、進学希望者、自営業、家事手伝いを除いて就職した者は約37万6千人で就職率は67.3%となっています。卒業後就職も進学もしなかった者は約7万6千人となっていて、うち4万5千人が就活や進学の準備にいそしんでおり、残りの3万1千人はいわゆるニートとみられています。

同紙は卒業後もハローワークに通って就職活動をしている卒業生の状況を伝えていて、就職を目指す今日の学生にとって現代は過酷な時代と言わざるを得ない状況です。

振り返ってわが母校経済学部の就職状況をみるとこんな厳しい時代にありながら、率直に言ってよく頑張っていると思います。これには学生本人の努力はもちろんですが、大学・教員の賢明な指導と応援、加えて先輩諸氏の協力が大きな力になっていることと思います。

平成25年春 経済学部卒業生の就職状況

() 内は女子学生数

卒業年	卒業生数	企業・事業所	公務員	その他	合 計
平成23年	207(55)	145(32)	25(13)	0	170(45)
24年	216(50)	136(30)	21(5)	4(0)	163(35)
25年	193(52)	144(37)	26(8)	0	170(45)

平成25年春 経済学部卒業生就職先一覧

平成25年3月末現在

産業分類	就 職 先	員数	産業分類	就 職 先	員数	産業分類	就 職 先	員数
建設 (設備工事)	(株)きんでん	2	サービス (広告・調査・情報)	(株)ディー・オー・エス	1	金融 (銀行)	(株)近畿大阪銀行	1
	住友電設	1		TIS(株)	1		(株)三井住友銀行	3
建設 (総合工事)	(株)藤木工務店	1		コベルコシステム(株)	1		(株)三菱東京UFJ銀行	5
	鹿島建設(株)	1		デンソーテクノ(株)	1		(株)池田泉州銀行	2
	積水化学工業(株)	1		日本アイ・ビー・エム・テクノロジーズ(株)	1		(株)南都銀行	2
	大和ハウス工業(株)	1		日本アクティ・システムズ(株)	1		(株)百五銀行	1
	東亜建設工業	1		日本コンピュータシステム(株)	1		三井住友信託銀行	1
製造 (ゴム製品)	(株)アシックス	1	社会保険・福祉	アサヒサンクリーン(株)	1	金融 (証券)	SMBCフレンド証券(株)	1
製造 (たばこ)	日本たばこ産業(株)	1		(株)ウィルウェイ	1		SMBC日興証券(株)	1
製造 (一般機械器具)	(株)コバタ	2	専門サービス (他に分類されないもの)	(株)成学社	1		野村證券(株)	1
	(株)小松製作所	1		学進舎Yセミナー	1	金融 (中小商工・庶民金融等)	(株)商工中央金庫	2
	(株)富永製作所	1		税理事務所	1		三井住友カード(株)	1
	ダイジエット工業(株)	1		優成(監)	1		大阪市信用金庫	2
	ヤンマー(株)	1		(株)エヌ・ティ・ティマーケティングアクト	1		大阪信用金庫	1
製造 (化学)	川崎重工(株)	1	その他事業	(株)ネオキャリア	1	金融 (投資)	(株)ファーストリテイリング	2
	エアー・ウォーター(株)	2	サービス	ジー・エー・コンサルタンツ(株)	1		(株)みずほフィナンシャルグループ	3
	関西ペイント(株)	1	物品賃貸	(株)日立システムズ	1		(株)モリタホールディングス	2
	荒川化学工業(株)	1		シャープファイナンス(株)	1		(株)りそなホールディングス	6
	大浦貴金属工業(株)	1		大阪ガスファイナンス	1	金融 (保険)	三井住友海上火災保険(株)	1
製造 (家具)	東ソー(株)	1	放送	朝日放送(株)	1		三井生命保険(株)	1
	日本ペイント(株)	3		日本放送協会	1		東京海上日動火災保険(株)	1
	日本新薬(株)	1	旅館・宿泊所	(株)ミリアルリゾートホテルズ	1		日本生命保険(株)	3
	(株)イトーキ	1		(株)近鉄エクスプレス	1		明治安田生命保険(株)	1
製造 (出版・印刷)	(株)メイワボックス	1	運輸・通信・倉庫・鉄道	(株)上組	1	小 計		144
製造 (食料品)	凸版印刷(株)	1		三井倉庫港運(株)	1	国家公務員	経済産業省	1
製造 (精密)	山崎製パン(株)	1		新関西国際空港(株)	1		関東財務局	2
製造 (鉄鋼・非鉄)	(株)島津製作所	1		三菱倉庫(株)	1		近畿財務局	1
	山陽特殊製鋼(株)	1		京阪電気鉄道(株)	1		大阪国税局	2
	住友電気工業(株)	1		南海電気鉄道(株)	1		名古屋国税局	1
製造 (電気機械器具)	日本原燃(株)	1	卸売・小売・飲食店	西日本鉄道(株)	1	地方公務員	大阪府	1
	(株)キーエンス	2		(株)光洋	1		東京都	2
	古野電気(株)	1		トラスコ中山(株)	1		静岡県	1
	三菱電機(株)	1		ユアサ商事(株)	1		滋賀県	1
	寺崎電気産業(株)	1		因幡電機産業(株)	1		岡山県	1
製造 (輸送用機械器具)	日本モレックス(株)	1		岡本無線電機(株)	1		島根県	1
	(株)エクセディ	1		兼松(株)	1		東京消防庁	1
	トヨタ自動車(株)	2		山陽物産(株)	1		大阪市	5
	愛知機械工業(株)	1		松尾産業(株)	1		姫路市	1
電気・ガス	極東開発工業(株)	1		福栄鋼材(株)	1		五條市	1
	関西電力(株)	3		(株)コメリ	1		松原市	1
	(株)TKC	1		(株)ニッセン	1		宝塚市	1
サービス (広告・調査・情報)	(株)エヌ・ティ・ティ・データ	1	不動産	(株)ライフコーポレーション	2	小 計	与謝野町	1
	(株)オープン・システム・ソリューションズ	1		イオンリテール(株)	1		練馬区	1
	(株)セントラル情報サービス	1	金融 (銀行)	辰野(株)	1	計		26
	(株)ソフトウェア・サービス	1		(株)紀陽銀行	1	総 計		170

第9期 経友会講座 10月3日開講

9年目となった本講座は相変わらずの人気講座となっていて、例年田中記念館の大会議場（ホール）が学生と社会人聴講生で盛況です。経友会の講座担当委員は、いろいろな業界の第一線で活躍する人や経験者で講師を務めていただけたらという方を訪ねて1年前からお願いに回ります。講師のみなさんは多忙を極める方々ばかりですが、母校のため後輩の学生のためならと時間を割いて講義に必要な資料の調整等準備してくださいます。ありがたいことと感謝しています。

経済学部企画講座（経友会講座）産業経済論特殊講義4

担当 経済学部 福原 宏幸 教授

【実施期間】 平成25年10月3日(木)～平成26年1月23日(木)
 【講義時間】 午後4時20分～午後5時50分
 【会場】 田中記念館大会議場（履修状況によっては教室変更あり）
 【講義内容】

経済学部および経済学研究科の同窓会組織・経友会による公開企画講座も、今年で9回目を迎えます。本年度も経済学部と他学部の卒業生をお招きして、製造業はもとより、金融、流通、鉄道、メディアなど多様な分野からでの実体験を語っていただきます。

激動の時代を生きたそれぞれの講師の生の声を通して、私たちは日本の企業や経済社会の変遷と、そのただ中で考え抜かれた知恵や果たされた苦勞を知ることができると思います。また、それらの講義は、これからの経済社会で生きていこうとする皆さん方に、大いに役立つものと考えています。

（敬称略）

日 程	内 容（テーマ）	講 師
10月3日	自治体と活生	武田 勝玄（S49理卒） 大阪府河南町長、元ソニーマーケティング
10月10日	テレビ産業の興亡	山口南海夫（S44工卒） 元パナソニックテレビ本部、 元日本ビクター専務
10月17日	地方銀行は企業とどのように向き合っているか	青野 栄一（H4経卒） 池田泉州銀行 堺支店次長
10月24日	LRTを都市交通の主役にしよう ～ひとと環境にやさしい新型路面電車の導入が大阪を救う～	土居 靖範（S42商卒） 立命館大学経営学部教授 交通政策論 国際ロジステック論
11月7日	トラックターミナル事業に携わって ～役所生活を振り返りながら～	横山 隆文（S48経卒） ㈱大阪港トランスポートシステム社長、 元大阪市役所
11月14日	言語文化を通してみるアメリカ共生社会の諸相	福西 淳（S38経卒） 梅花女子大学元教授（比較文化学科）、 毎日新聞社元記者（外信部）
11月21日	森林・林業・山村再生をめざして	谷 彌兵衛（H10経院修了） 林業経済史研究者 博士（経済学）
11月28日	生活協同組合概論と大学生協について	堀 隆行（H4経卒） 大阪市立大学生生活協同組合専務理事
12月5日	株式会社ニッコー創業100年の歩み	清水 奉明（S46商卒） ㈱ニッコー常務取締役経理部長、 元第一勧銀江坂支店長
12月12日	鉄鋼業及び産業ガスの現状	松井 俊文（S55商卒） エアウオーター㈱広報IR室部長 （新日鐵住金㈱）
12月19日	鉄道会社における観光事業のこれまでと今後の展開	木村 靖夫（S54経卒） 京阪電気鉄道㈱ 常務執行役員 （流通業統括責任者）
1月9日	映像制作を通して社会を視る ～街の記憶を伝える方法・朝日ビルビデオを事例として～	若林あかね（H18創都修了） ㈱ジオ・メディア・プロダクション エグゼクティブダイレクター
1月23日	住宅の設計	山中 恵子（S47生科卒） 山中恵子建築設計室、 元大林組・遠藤剛生建築設計事務所

（注）講師および内容・日時は変更する場合があります。

〔経友会会員の聴講のご案内〕

経済学部卒業生で、本講座にご関心のある方はぜひお出でください。当日、受付で「経友会会員」であると申し付けくだされば無料で聴講していただきます。

● 伝 言 板 ●

○会費納入のお願い

過去3年間会費納入のなかった方には、残念ですが前号から通信費節減のため経友会ニュースの送付と総会の案内を休止させていただいています。今後ともこの節減対策を続けさせていただきますのでご理解くださいますようお願いいたします。毎年会費収入が減少し会計は赤字が続いていて、これまで設立時の繰越資金を取り崩しています。このままでは事業の継続が危ぶまれますので、前年度会費の納入のなかった会員の方にはぜひ今年度から会費を納入くださいますようお願いいたします。なお、昭和61年以前に経済学部を卒業された方、大学院経済学研究科修了又は中退の方は、年度会費、終身会費どちらかをお選びください。

○総会等案内の電子メールの利用についてのお願い

これも通信費節減対策の一つとして進めています。電子メールを利用されている方まだアドレスの登録をされていない方には、電子メールでご氏名・卒業年と合わせて「アドレスの登録をする」旨を下記までご一報くださいますようお願いいたします。

登録いただきましたアドレスは厳重に管理し、会議案内と経友会用件の連絡以外には使用いたしませんので、念のため申し添えます。なお、これまで通り往復はがきでの案内を希望される方には、往復はがきでご案内いたします。（この場合、ご連絡は不要です。）

連絡先・お問い合わせ先

大阪市立大学経友会事務局担当 出原(いずはら) 康雄

TEL 072-238-9502

E-mail keiyukai07@sakai.zaq.ne.jp

🌳🌳🌳🌳🌳 ホームカミングデーのお知らせ 🌳🌳🌳🌳🌳



今年もまた恒例のホームカミングデーが11月3日に開催されます。本年は、経友会と商友会とが共同で、全学行事が終了する午後3時から全学懇親パーティが始まるまでの間、下記の講演会を開催することになりました。ぜひ、ご参加くださいますようご案内いたします。

日 時	11月3日 午後3時10分～4時（4時30分から全学懇親会）
会 場	法学部棟11階大会議室
演 題	「大阪市の財政とその課題」
講 師	大阪市代表監査委員、大阪市立大学名誉教授 高橋 敏朗氏（元商学部教授）

前号記事の訂正とお詫び

前号（第24号）の経友会講座第10回の「知財とは一キャノンの知財戦略について」の記事で、一部不正確な記述がありましたので、下記の通り訂正いたします。講師の玉利真人氏はじめ、関係の方々にご迷惑をおかけしたことをお詫びし訂正いたします。

「玉利氏は、知的財産とは特許・意匠・商標から回路配置等に至るまで企業活動で考案された全てであって、他者の無断使用や侵害をブロックすることで自社の利益が守られると言葉の概念・目的を説明された。そして世界に展開する自社の生産研究拠点から寄せられる情報を本部知財部門で管理している状況を紹介し、研究開発とは開発・製造・特許申請までの過程を指していて、論文より特許の申請を書くことを優先する風土があることなどを説明された。また電子部門への参入後は、知的財産の位置づけがますます重要となり、知的財産も活用しながら種々の企業とも積極的に連携し事業を推進するという経営戦略の説明をされた。また、企業のグローバル化やクラウド化の進展、法的対応などの事例を挙げて今後の方向性についても説明された。」